



発大議第 334 号  
令和 2 年 8 月 11 日

大山町長 竹口 大紀 様

大山町議会議長 杉谷 洋一



## 新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書（その 2）

急速に深刻化したコロナ禍による影響を支援するため、大山町議会が考える対策案を去る 7 月 21 日に提出した。

しかし、収束の気配のない第 2 波ともいえる昨今のコロナ禍に対し更なる問題点も見えてきたことから、追加の支援が必要と感じ、以下に大山町議会として第 2 弾の支援策を提言する。

### 記

1. オンライン診療と往診との組み合わせにより、高齢者世帯の在宅医療や看取りの環境が充実する。感染拡大を防ぐためにも診療所の取り組みとしてオンライン診療を進められたい。また、現在取り組んでいる電話診療などの広報も必要である。  
同時に町民誰もがスマホやタブレットなどの携帯端末の操作に支障を感じなくなるような環境整備も検討されたい。
2. 各施設来場者の検温をすることにより感染者のチェックと感染拡大予防を可能とするため、検温サーモカメラや検温計の購入を検討されたい。
3. 大量の本を有する施設、人の手を経由する本の消毒も必要であることから、本を複数冊一度に消毒する機器の購入を検討されたい。
4. 手動の水栓から自動の水栓へ改修することにより感染予防ができることから、学校や公民館など、公共施設への手洗い自動水栓の導入を検討されたい。
5. 町民の感染症拡大を防止する観点から、接触者だけでなく、検査を希望する町民にも PCR 検査を拡大することが求められる。また町出身者が、安心安全に大山町に帰省できるよう帰省者も事前に検査をすることが重要である。  
そこで PCR 検査費用が高額であるため町独自の助成措置を検討されたい。
6. 新型コロナ感染者が町内で発症した場合、感染者への拒否、差別を防ぐ町独自の条例の制定を検討されたい。
7. コロナ禍により、サザエなどの貝類を含む魚価が低迷している。そこで、素潜り漁業を含む漁業者に必要な支援を検討されたい。  
また、本町の採貝漁業は小規模零細漁家が多いが、サザエやアワビは本町の特産品であり、今後さらにブランド化を図っていくため、採貝漁家の組織化、経営能力向上のため必要な支援を検討されたい。

